

## iStorage M シリーズ

(M11e/M110/M310/M310F/M510/M710/M710F)

VMware vSphere 6.5 でストレージあたり256以上の  
論理ディスクを使用する際の設定手順

# はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございました。

本手順書では、iStorage Mシリーズと VMware vSphere 6.5 接続時、ストレージあたり256以上の論理ディスクを使用する際の設定手順に関して説明します。

VMware vSphere 6.5 から、ストレージあたりの最大論理ディスク数を 256 から 512 に拡張しています。M11e/M110/M310/M310F/M510/M710/M710F で、プラットフォーム設定(アクセスコントロールが有効な場合は LD セットのプラットフォーム / アクセスコントロールが無効な場合は、ホストポート設定のプラットフォーム)を「VMware(VW)」にしている場合、ストレージ制御ソフトのリリース 0963 以降へのアップデートと、本手順書に示す設定の変更が必要です。

## 備考

### 1. 商標および登録商標

VMware、VMware vSphere、VMware vSphere ESXi は VMware,Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。

その他、記載されている製品名、会社名等は各社の商標または登録商標です。

### 2. 本文中は、特にご注意ください内容を以下で示しております。内容については必ずお守りください。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、システム運用において影響がある場合があります。

| 表示の種類   |                           |
|---|---------------------------|
| 種類  | 内容                        |
|  | 操作において特に注意が必要な内容を説明しています。 |
|  | 操作における制限事項等の情報を説明しています。   |

2017年 3月 第1版

# 目次

|                  |   |
|------------------|---|
| 第 1 章 事前準備 ..... | 3 |
| 第 2 章 設定手順 ..... | 5 |

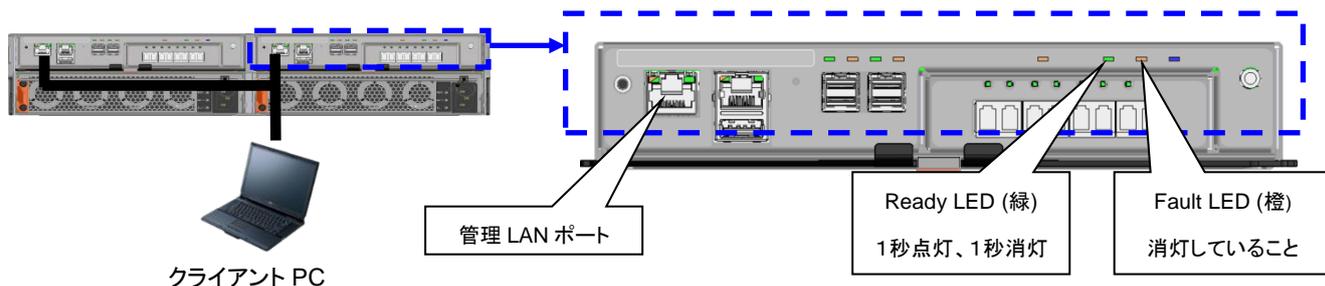
# 第 1 章 事前準備

設定作業は、クライアント PC のコマンドプロンプトやターミナルソフトウェアなどから、telnet や ssh のクライアント機能を使ってディスクアレイ装置に接続し、ログインしてから行います。

使用するクライアント PC は、ディスクアレイ装置のそれぞれのコントローラの管理 LAN ポートにアクセスできるように LAN で接続してください。

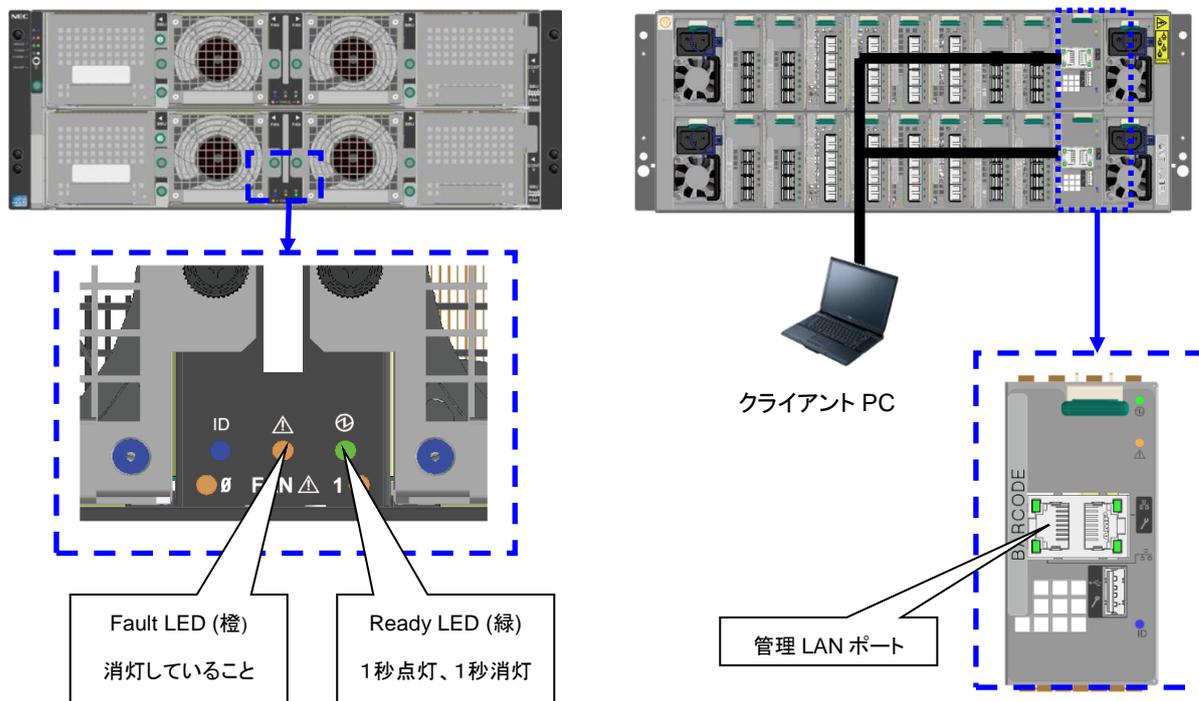
M11e/M110/M310/M310F ディスクアレイ装置 後面

M11e/M110/M310/M310F コントローラ 後面



M510/M710/M710F ディスクアレイ装置 前面

M510/M710/M710F ディスクアレイ装置 後面



なお、設定作業を行う際には、以下に留意してください。

- 設定作業にかかる時間は約 10 分です。  
なお、サーバの停止、起動を実施する必要がある場合、時間が別途かかります。
- ストレージ管理者など administrator 以上の役割を持つユーザで作業を行ってください。
- 設定変更は装置に異常が発生していない状態で行ってください。
- 設定作業中は装置の電源を切断しないでください。
- 本設定は、LD セットまたは、ホスト接続ポート設定のプラットフォームが「VMware(VW)」の設定である場合に必要な手順です。「VMware(VW)」以外でご使用の場合、設定の変更は必要ありません。プラットフォームについては、iStorage ソフトウェア構成設定の手引きを参照してください。
- 本設定は、サーバあたり 256 を超える論理ディスクをサーバに認識させる前に実施してください。



VMware vSphere Virtual Volumes を使用している VMware vSphere ESXi サーバを接続している場合、設定変更時は、該当する VMware vSphere ESXi サーバをシャットダウンした状態で設定変更を実施してください。



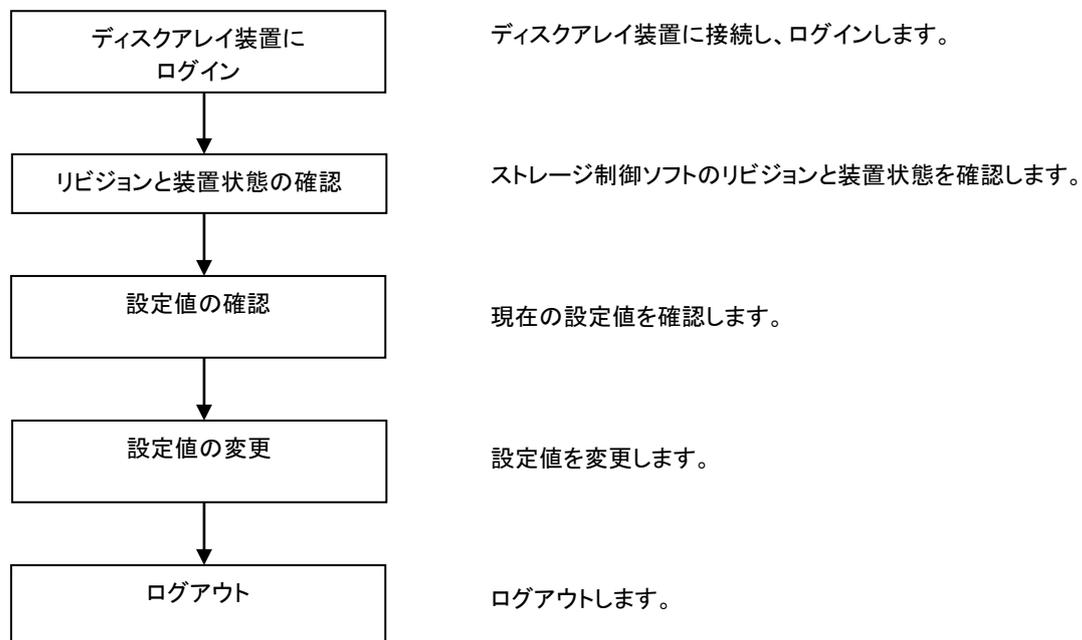
本設定は、ストレージ制御ソフトのリビジョン 0963 以降でサポートします。リビジョンが 0963 未満の場合は、ストレージ制御ソフトのアップデートを事前に実施してください。アップデートは、条件を満たせば、オンラインで可能です。条件の詳細は「iStorage ストレージ制御ソフト アップデートガイド」を参照してください。



製品ご購入時、すでにストレージ制御ソフトのリビジョンが 0963 以降である場合、本設定は初期値が有効状態ですので、設定変更の必要はありません。

## 第2章 設定手順

本章では、設定手順に関して説明しています。



### 手順1. ディスクアレイ装置にログイン

ディスクアレイ装置に接続してログインします。

### 手順2. リビジョンと装置状態の確認

iSMviewコマンドを実行して現在のストレージ制御ソフトのリビジョンが「0963」以上であることを確認します。  
また、ディスクアレイ装置の装置状態(Resource State)が「ready」であることも確認してください。



本設定はストレージ制御ソフトのリビジョンが「0963」以上で対応しています。リビジョンが「0963」未満の場合は事前にストレージ制御ソフトをアップデートしてください。



ディスクアレイ装置に異常がある場合は、障害情報を元にその原因を取り除いてください。

```
sysadmin@CNT-1#iSMview -d

--- Disk Array Detail Information ---
Disk Array Name       : CNT
Resource State       : ready ← ディスクアレイ装置の状態
Monitoring           : running
Vendor ID            : NEC
Product ID           : iStorage M10e
Product FW Revision  : 010A
Serial Number        : 0000000991010002
SAA                  : 02002000000991010002000000000000
                     000000000000000000000000
World Wide Name      : 2000000991010002
Total Capacity       : 1.560TB
Number of DE         : 1
User System Code     : 0000000000
Storage Control Software Revision : 0963 ← ストレージ制御ソフトのリビジョンを確認
Configuration Change :
```

### 手順3. 設定値の確認

以下のコマンドを実行して、現在、ディスクアレイ装置に設定されている設定の状態を確認します。

```
sysadmin@CNT-1# iSMmnt config -systemcfg
***** Standard Subsystem Config : current setting *****
Prevent maintenance level (0-7)           | 0
Auto cache flush time (min)               | 5
Buffer mode                               | 0n
:
Simple logical unit addressing method      |  ← 機能の設定
:
ExitStatus:0
```

上記の Simple logical unit addressing method が、「Off」であることを確認してください。

「On」の場合、設定済みですので、以降の手順は必要ありません。

「Off」の場合、手順4に進んでください。

### 手順4. 設定値の変更

設定値を変更するには、以下のコマンドを実行します。



VMware vSphere Virtual Volumes を使用している VMware vSphere ESXi サーバを接続している場合、設定変更時は、該当する VMware vSphere ESXi サーバをシャットダウンした状態で設定変更を実施してください。

設定を「有効」にするため、以下のコマンドを入力してください。

```
sysadmin@CNT-1# iSMmnt config -systemcfg -sluam on
```

上記コマンドを実行すると次のメッセージが表示されますので、「Y」と入力してリターンキーを押します。

```
May I execute configuratuion? [(Y)es/(N)o] = Y
```

変更後の設定値が表示されるので、正しく変更できたことを確認します。

```
sysadmin@CNT-1# iSMmnt config -systemcfg -sluam on
May I execute configuratuion? [(Y)es/(N)o] = Y
***** Standard Subsystem Config : current setting *****
Prevent maintenance level (0-7)           | 0
Auto cache flush time (min)               | 5
Buffer mode                               | 0n
:
Simple logical unit addressing method      |  ← 設定有効
:
ExitStatus:0
```

## 手順5. ログアウト

ログアウトして切断します。

```
sysadmin@CNT-1#exit
```

iStorage M シリーズ

VMware vSphere 6.5 でストレージあたり256以上の論理ディスク  
を使用する際の設定手順書

2017年 3月 1版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目7番1号

TEL(03)3454-1111(大代表)

©NEC Corporation 2017

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。